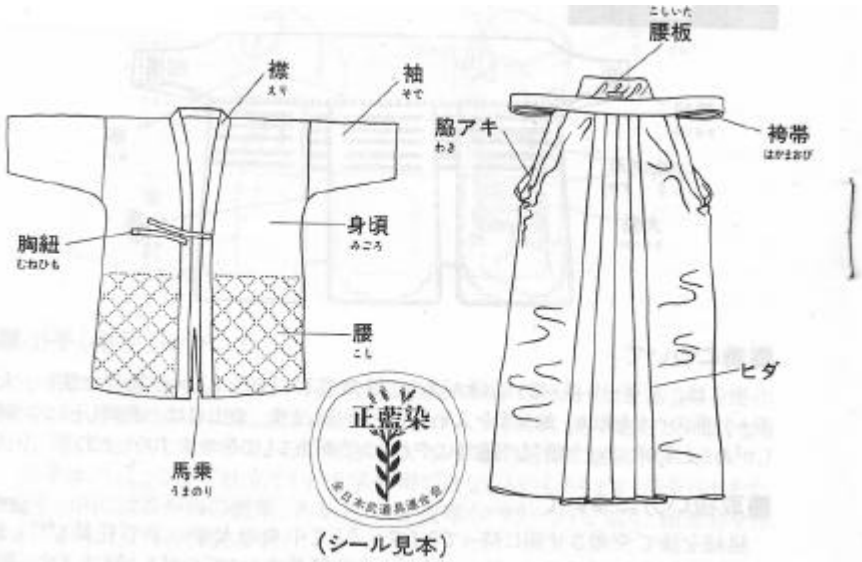
剣道衣・袴



■ サイズ選び

● 剣道衣は肌にじかに着るため、汗を取る木綿糸を使用し、刺子織にて一重刺・二重刺布とがあり、使用にあたっては厚地の二重刺の方が丈夫で汗もよく取ります。袖の長さが肘を隠す程度のサイズを選んでください。

● 袴には木綿布地とテトロン布とがあり、木綿は糸の番手（何千番）及び木綿の重さ（何十貫）で品質を表し、長さは前紐の下からの寸法で表示されます。その号数サイズのもとは、くじら尺によるものです。木綿の場合、洗濯すると地づまりしますのでやや大きめを、テトロン布は地づまりの心配はありません。

● 袴の長さは、足のくるぶしが隠れる程度が良いとされています。長すぎると足先で袴の裾を踏んでしまい転倒する危険もあります。また、少年用と大人用の腰板の大きさがあり、小さい方があまり大きいサイズにすると脇回りが大きすぎますので注意ください。

■ 剣道衣・袴の洗濯方法

● 剣道衣・袴に使用されている木綿は縮むと思われていますが、綿自体は縮むのではなく、綿花から糸、糸から布、そして製品へと加工され、その間にいろいろな機械を通り、その際、繊維は常に強く引っ張られ製品へと変わって行きます。このように繊維が伸びきった状態で製品になると、木綿の繊維が水を吸ったとき膨らんで伸びきった状態を元へ戻そうとして、縮みます。最初の洗濯で最も大きく縮み、2・3回後からは、それ以上縮まなくなります。

● 藍染めの剣道衣を洗う時は、剣道衣を裏返しにしてから手で押し洗いし日蔭干しをして良く乾かしてください。

● 藍染めの袴を洗う時は、袴のひだをきちんと揃えてたたみ、剣道衣の洗濯と同じ方法で洗うとうまく洗えます。

● 洗濯機・乾燥機・洗剤などの使用は、なるべく避けてください。他の洗濯物とは一緒に洗わないでください。